

2023年9月資金需給予想

| | 銀行券要因 | 財政等要因 | 資金過不足 | 主要項目 | 日銀調節 |
|-------|---------|-----------|-----------|--|---|
| 1(金) | 600 | ▲ 36,500 | ▲ 35,900 | 財政融資資金の回収 2Y発行▲29,000償還16,600 | C P買入▲100 社債買入▲100 国債補完28,400・▲32,900 成長基盤▲3,700 |
| 2(土) | | | | | |
| 3(日) | | | | | |
| 4(月) | 1,000 | ▲ 24,400 | ▲ 23,400 | 年金保険料・法人税・消費税揚げ 普通交付税払い TB3M発行▲58,000償還62,500 交付税借入▲12,000期日12,000 | C P買入▲500 社債買入▲100 国債補完32,900・▲35,400 |
| 5(火) | 600 | 300 | 900 | | 国債買入11,400 C P買入▲300 国債補完35,400・▲35,300 |
| 6(水) | 100 | ▲ 24,800 | ▲ 24,700 | 10Y発行▲27,000 | 短国買入1,000 国債補完35,300 |
| 7(木) | 100 | ▲ 2,000 | ▲ 1,900 | | |
| 8(金) | 600 | ▲ 15,000 | ▲ 14,400 | 労働保険料揚げ 30Y発行▲9,000 交付税借入▲11,450期日11,450 | |
| 9(土) | | | | | |
| 10(日) | | | | | |
| 11(月) | ▲ 600 | 12,000 | 11,400 | TB3M発行▲56,000償還62,000 TB6M発行▲40,000償還45,000 10Y物価 償還1,700 | |
| 12(火) | 600 | ▲ 2,000 | ▲ 1,400 | | |
| 13(水) | 500 | ▲ 33,000 | ▲ 32,500 | 源泉税揚げ 社会保障費払い 5Y発行▲25,000 | CP買入4,000 全店共通(固)▲8,800 |
| 14(木) | ▲ 1,000 | ▲ 2,000 | ▲ 3,000 | | |
| 15(金) | 1,000 | ▲ 13,000 | ▲ 12,000 | 個人向け3Y・5Y・10Y▲3,000(見込み) 3Y・5Y 償還800 20Y発行▲12,000 | 貸出増加支援▲13,000 |
| 16(土) | | | | | |
| 17(日) | | | | | |
| 18(月) | | | | | |
| 19(火) | 1,000 | 15,000 | 16,000 | TB3M発行▲56,000償還63,000 | |
| 20(水) | ▲ 1,000 | 43,000 | 42,000 | 国債の大量償還・利払い TB1Y発行▲35,000償還27,700 5Y償還10,800 10Y償還25,100 20Y償還7,000 流動性供給▲5,000 エネルギー対策借入▲6,200期日5,500 | |
| 21(木) | ▲ 500 | ▲ 3,000 | ▲ 3,500 | | 社債買入1,000 |
| 22(金) | ▲ 500 | ▲ 11,000 | ▲ 11,500 | 流動性供給▲5,000 | |
| 23(土) | | | | | |
| 24(日) | | | | | |
| 25(月) | 1,500 | 20,000 | 21,500 | TB3M発行▲56,000償還63,000 | |
| 26(火) | ▲ 500 | ▲ 3,000 | ▲ 3,500 | | |
| 27(水) | ▲ 1,000 | ▲ 22,000 | ▲ 23,000 | 財政融資資金の回収 40Y発行▲7,000 | |
| 28(木) | ▲ 1,000 | ▲ 3,000 | ▲ 4,000 | | |
| 29(金) | ▲ 200 | 600 | 400 | | CP買入4,000 |
| 30(土) | | | | | |
| 計 | 1,300 | ▲ 103,800 | ▲ 102,500 | | |

今月は、上旬下旬に財政融資資金の回収、4日に税・保険料揚げ、普通交付税の払い、13日に源泉所得税揚げ、後期高齢者医療給付費の払い、20日に国債の大量償還・利払いなどが予定されている。

主な不足日(見込み) 1日、4日、6日、8日、13日、15日、22日、27日 主に財政等要因

主な余剰日(見込み) 11日、19日、20日、25日 主に財政等要因

◆日銀当座預金増減要因（2023年9月見込み）出所：日本銀行

| | 見込み | 前年実績 | 前年同月比 |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 銀行券要因 | 1,300 | 2,827 | ▲ 1,527 |
| 財政等要因 | ▲ 103,800 | ▲ 143,350 | 39,550 |
| 国債等 | ▲ 65,200 | ▲ 35,211 | ▲ 29,989 |
| 国庫短期証券等 | 19,600 | 27,600 | ▲ 8,000 |
| 上記を除くその他 | ▲ 58,200 | ▲ 135,739 | 77,539 |
| 資金過不足 | ▲ 102,500 | ▲ 140,523 | 38,023 |

日本銀行が金融機関等から買入れた国債・国庫短期証券が償還を迎えた場合には、上表の国債等・国庫短期証券等の償還には含まれない扱いとなっている。

◆財政資金対民間収支（2023年9月中見込み）出所：財務省

| 区分 | 見込み | 前年実績 | 前年同月比 | 備考 |
|---------------|----------|----------|----------|-------------------|
| 一般会計 | ▲ 19,710 | ▲ 9,487 | ▲ 10,223 | |
| 租税 | 57,700 | 58,973 | ▲ 1,273 | 消費税・法人税等の受入 |
| 税外収入 | 5,020 | 1,975 | 3,045 | |
| 社会保障費 | ▲ 23,880 | ▲ 15,632 | ▲ 8,248 | 障害者自立支援給付費負担金の支払等 |
| 地方交付税交付金 | ▲ 42,130 | ▲ 41,446 | ▲ 684 | 普通交付税の交付等 |
| 防衛関係費 | ▲ 3,320 | ▲ 2,602 | ▲ 718 | |
| 公共事業費 | ▲ 2,460 | ▲ 2,403 | ▲ 57 | |
| 義務教育費 | ▲ 930 | ▲ 935 | 5 | |
| その他支払 | ▲ 9,710 | ▲ 7,418 | ▲ 2,292 | |
| 特別会計 | 41,760 | 74,358 | ▲ 32,598 | |
| 財政投融资 | 28,970 | 32,259 | ▲ 3,289 | 地方公共団体・機関からの貸付回収等 |
| 外国為替資金 | - | 30,209 | ▲ 30,209 | |
| 保険 | 28,860 | 27,923 | 937 | 年金保険料等の受入 |
| その他 | ▲ 16,070 | ▲ 16,033 | ▲ 37 | 公債の利子支払等 |
| 一般会計・特別会計等小計 | 22,050 | 64,871 | ▲ 42,821 | |
| 国債等 | 65,170 | 35,211 | 29,959 | |
| 国庫短期証券等 | ▲ 19,630 | ▲ 27,600 | 7,970 | 公募発行見込額約30.4兆円 |
| 国債等・国庫短期証券等小計 | 45,540 | 7,611 | 37,929 | |
| 調整項目 | ▲ 20 | ▲ 2,858 | 2,838 | |
| 総計 | 67,570 | 69,624 | ▲ 2,054 | |

◆2023年9月の主な不足日・余剰日の見込み

主な不足予定日は、1日（財政融資資金の回収、税・保険料揚げの前倒し、2Y発行）、4日（税・保険料揚げ）、6日（10Y発行）、8日（労働保険料揚げ、30Y発行）、13日（源泉税揚げ、5Y発行）、15日（20Y発行）、22日（流動性供給）、27日（財政融資資金の回収、40Y発行）。一方、主な余剰予定日は、11日（TB3M6M償還超過）、19日（TB3M償還超過）、20日（国債の大量償還・利払い）、25日（TB3M償還超過）。

◆2023年9月の短期金融市場予想

●コール市場

8月積み期間の基準比率はやや上昇した(7月64.5%→8月67.0%)。直近のコール市場は、GCLレートの低下を受け、オファーサイドに裁定取引による運用ニーズの高まりが見られ、レートは低位での推移となっている。引き続き水準でのレート推移が見込まれるが、積み最終日が近づくにつれ、一時的に上昇する局面も想定される。9月積み期間となる月後半は、金融政策決定会合を控えているが、コール市場への影響は限定的であると思われる、引き続きレートは低位での推移が予想される。11日に発表される、9月積み期間に適用される基準比率は66.5%前後を予想する。

●CP市場

8月の市場残高は、28兆円台で推移するなか、月末日に限り27兆1,712億円（前月比▲7,459億円、前年同月比▲1兆0,047億円）まで減少した。引き続き資金調達ニーズは根強いことから、今後も27～28兆円程度の高水準での推移が見込まれる。しかし、9月末には例年通り、事業法人による有利子負債圧縮による影響から残高の大幅な減少が予想される。発行レートについては、残高が高水準で推移している影響は少なく、引き続きキャッシュ潰しのニーズなどから、0%近傍での推移が予想されるが、9月末償還物に関しては期日が集中するため、一部の投資家の購入ニーズが弱まる可能性がある。一方で、9月末越え物に関しては引き続き購入ニーズの強い展開が見込まれる。

●短国市場

短国市場については、期間ごとにニーズにバラつきが見られる。3M物と6M物に関しては、担保需要や海外勢の動向、加えてGCLレート低下の要因もあり、良好な需給環境となっている。一方で1Y物に関しては、引き続き日銀による政策変更への警戒感から、レートは▲0.10%近辺でやや軟調な推移となっている。今後は、四半期末を控えるなか、8日以降、3M物の発行額が減額見込みとなっている事も、期間の短い物に関しては引き続き▲0.10%を下回り堅調な推移が見込まれる。

短国買入オペに関しては、引き続き1,000億円程度での継続が予想されるが、需給の悪化が見られるようであれば増額される可能性も考えられる。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。